



平成 29 年 5 月 9 日

各位

上場会社名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 垣内 威彦
コード番号 8058
本店所在地 東京都千代田区丸の内
2 丁目 3 番 1 号
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
吉田 達矢(03-3210-3065)

**当社子会社(中央化学株式会社)の
繰延税金資産の取崩しおよび通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社である中央化学株式会社が、繰延税金資産の取崩しを行うとともに、平成 29 年 2 月 9 日に公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

尚、これによる当社の平成 29 年 3 月期個別業績及び連結業績への影響は軽微です。

(添付)

- ・ 中央化学株式会社の開示資料

以上

平成29年5月9日

各位

会社名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 水野 和也
 (コード番号 7895)
 問合せ先 ビジネス・デベロップメント 高濱 吉晃
 役職氏名 &プランニング本部 経営企画部長
 電話 048-540-2820

繰延税金資産の取崩しおよび通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期において、繰延税金資産の取崩しを行うとともに、平成29年2月9日に公表しました業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩し、連結および個別の法人税等調整額に約1.8億円を計上する予定です。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想(A)	60,000	400	100	△ 200	△ 9.92
今回修正(B)	58,240	290	△ 179	△ 537	△ 26.66
増減額(B-A)	△ 1,760	△ 110	△ 279	△ 337	△ 16.74
増減率	△ 2.9%	△ 27.5%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	59,397	800	602	603	29.97

(2) 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	53,000	200	100	4.96
今回修正（B）	51,987	△ 141	△ 464	△ 23.07
増減額（B－A）	△ 1,013	△ 341	△ 564	△ 28.03
増減率	△ 1.9%	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期）	52,773	541	538	26.73

3. 修正の理由

1) 個別業績

食品包装容器市場と極めて関連性の深い食料品販売動向については、コンビニ業態を中心とする好調により前回予想時までは緩やかな回復傾向にありました。

このような環境下、当社においては、単体個別におけるリサイクルPETを原料とする環境配慮型製品C-APG（製品名）やその他の高付加価値製品の開発・生産・販売促進を進めておりますが、売上高については、前回予想時以降の市況悪化等により前回予想を約10億円下回る見通しです。経常利益については生産拠点変更に伴う一時的な生産性低下による原価改善の遅れが収益を圧迫し、前回予想を約3.4億円下回る見通しです。また、これに加えて当期純利益については繰延税金資産取崩しの影響で前回予想を約5.6億円下回る見通しです。

2) 連結業績

連結売上高については、個別業績の未達や円高による在外子会社の売上高換算額の減少等の影響で約18億円下回る見通しです。連結営業利益については、市況悪化と生産性低下等の影響で、約1.1億円下回り、連結経常利益については、個別業績での経常利益の未達の影響で、約2.8億円下回る見通しです。また、連結当期純利益については、繰延税金資産取崩し等の影響で前回予想を約3.4億円下回る見通しです。

（注）上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上